

## PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド(1年決算型)

追加型投信/海外/債券

## 交付運用報告書

第6期(決算日2025年7月25日)

作成対象期間(2024年7月26日~2025年7月25日)

第6期末(2025年7月25日)	
基準価額	15,922円
純資産総額	1,053百万円
第6期	
騰落率	5.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド(1年決算型)」は、2025年7月25日に第6期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;644803&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。  
社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

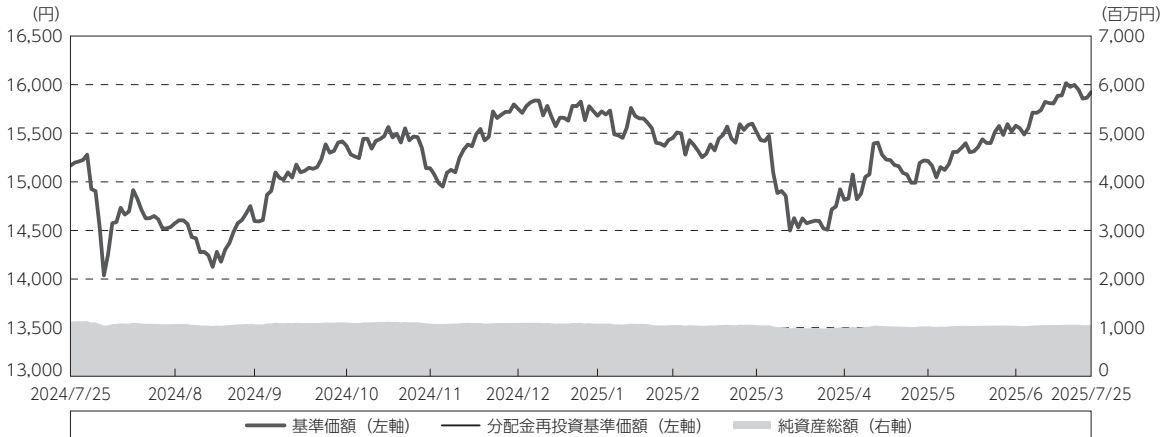
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

（2024年7月26日～2025年7月25日）



期首：15,167円

期末：15,922円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：5.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・新興国高利回り社債および新興国高金利通貨からインカム収入を得たこと。
- ・新興国高利回り社債のスプレッド（利回り格差）が縮小したこと。
- ・新興国通貨が上昇したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・対アメリカドルで円高が進行したこと。
- ・米国国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2024年7月26日～2025年7月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	257	1.683	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(151)	(0.990)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(101)	(0.660)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	15	0.100	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 15)	(0.095)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	272	1.783	
期中の平均基準価額は、15,247円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

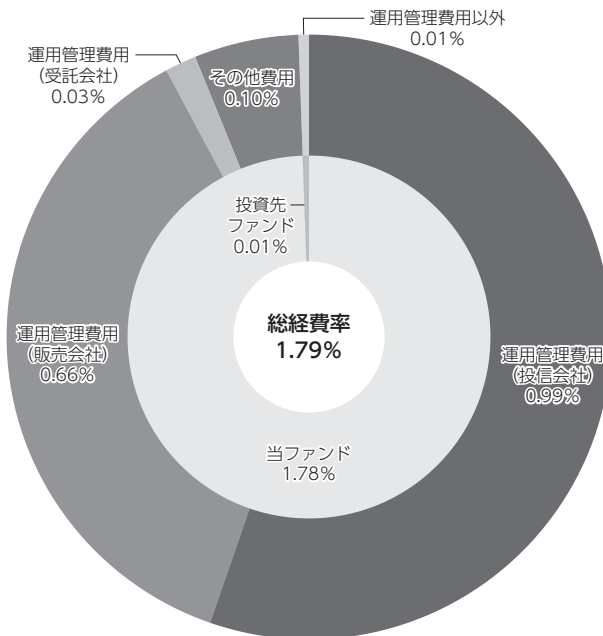
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2020年7月27日～2025年7月25日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2020年7月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年7月27日 決算日	2021年7月26日 決算日	2022年7月25日 決算日	2023年7月25日 決算日	2024年7月25日 決算日	2025年7月25日 決算日
基準価額 (円)	9,582	10,649	11,008	12,958	15,167	15,922
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.1	3.4	17.7	17.0	5.0
純資産総額 (百万円)	2,672	2,018	1,206	1,154	1,126	1,053

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

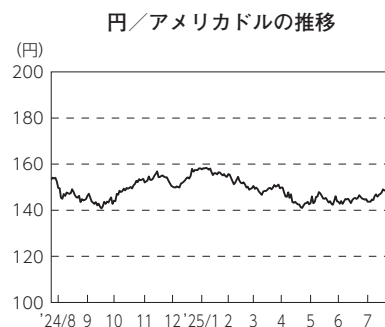
（2024年7月26日～2025年7月25日）

## （債券市況）

期間の前半は、インフレ率が低下傾向となってきたことに加え、米国の経済指標の鈍化に伴う景気減速懸念の拡大を背景に利下げが実施されたほか、中国における大規模な景気刺激策などを受けた市場センチメントの改善などがスプレッドの縮小要因となり、上昇しました。期間の後半は、米国トランプ政権による追加関税の実施や、その関税に対して報復関税が課されるなど米中貿易摩擦が激化する局面も見られましたが、その後両国が互いに課した追加関税の大幅な引き下げに合意し米中貿易摩擦の激化に対する過度な懸念が和らいだことから、上昇しました。

## （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（2024年7月26日～2025年7月25日）

## （当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

## （新興国ハイインカム債券マザーファンド）

主として、バミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA クラスN (USD)」および「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN (USD)」の保有を通じて新興国の高利回り社債や高金利通貨に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。投資している各ファンドのポートフォリオでは、以下の運用を行ないました。

## 「PIMCOバミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA クラスN (USD)」

ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好な国の企業の中でも、安定したキャッシュフローと国際競争力を有し、バリュエーション（価値評価）上の魅力がある企業を選好しました。具体的には、資源価格の上昇から恩恵を受けることが期待されるモロッコなどを積極方針としました。一方、利回り面での魅力が乏しいことなどを踏まえアラブ首長国連邦などを消極姿勢としました。

## 「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN (USD)」

各国の財政状況などのファンダメンタルズに基づき、投資対象国を選別しました。具体的には、政府や中央銀行の政策転換により、経済の安定が期待されるトルコリラなどを積極姿勢としました。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年7月26日～2025年7月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### 分配金

(2024年7月26日～2025年7月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第6期
	2024年7月26日～ 2025年7月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,192

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### （新興国ハイインカム債券マザーファンド）

保護主義的な政策と財政支出の削減を背景に米国の景気が減速する一方、金融環境の緩和や財政政策の拡大を背景に米国以外の主要国では安定した経済成長が見込まれ、米国経済だけが強いこれまでの状況が変化する見通しです。米国では、関税の引き上げや、政府機関の縮小、移民の制限などの大胆な政策により、2025～2026年の成長率は潜在成長率を下回る水準に落ち込むと予想しています。主要国のインフレ率は、金融危機後の平均を上回る水準で推移する可能性はあるものの、中央銀行の目標水準に近づいており、主要国では引き続き金融政策を中立的な水準に戻していくと予想されます。

新興国諸国は、先進国に比べて全体的に対GDP（国内総生産）での債務比率が低くバランスシートの安定性が保たれていることがサポート材料です。また、米国からの資金シフトによるアメリカドル安は新興国のインフレを抑制し、新興国においては利下げがより積極的に行なわれる可能性があります。米国トランプ政権による相互関税によりグローバル経済の不確実性は増していますが、その影響は一様とはならず、影響の度合いを国・地域毎に見極めることが重要であると考えています。一部の国はバリュエーションやテクニカル面から魅力的であり、選別的に投資機会を捉えていく方針です。

このような環境下、新興国高金利通貨においては、政府や中央銀行の政策転換により、経済の安定が期待されるトルコリラなどを積極姿勢とします。一方、米国の関税政策による影響が懸念されるなか、利下げの継続が予想されるメキシコペソなどを消極姿勢としています。新興国高利回り債券においては、グローバルな産業動向も考慮しつつ、個別国間の差異に注目した選別投資が今後も重要であると考えます。さらに、ファンダメンタルズが良好な国の企業の中でも、安定したキャッシュフローと国際競争力を有し、バリュエーション上の魅力がある企業を愛好します。具体的には、コモディティ価格上昇の恩恵を受けるモロッコなどを積極方針とします。一方、利回り面での魅力が乏しいことなどを踏まえアラブ首長国連邦などを消極姿勢とします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

### 約款変更について

2024年7月26日から2025年7月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第50条）

### <運用報告書の電子交付に関するご案内>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正（施行：2025年4月）が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。

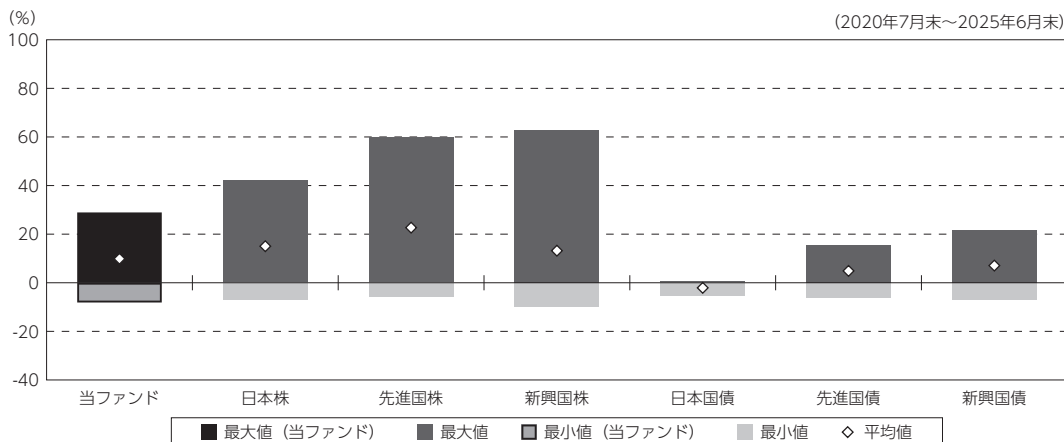
※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年8月1日から2029年7月25日までです。	
運用方針	主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	PIMCO新興国ハイインカム債券ファンド（1年決算型）	「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	新興国ハイインカム債券マザーファンド	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「新興国ハイインカム債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の高利回り社債や高金利通貨を主要投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資信託証券の合計組入率は、高位を保つことを原則とします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	28.9	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 8.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	9.9	15.0	22.7	13.2	△ 2.1	4.9	7.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

（2025年7月25日現在）

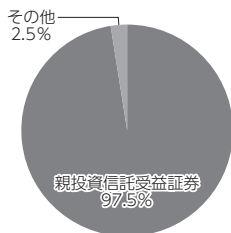
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
新興国ハイインカム債券マザーファンド	97.5%
組入銘柄数	1銘柄

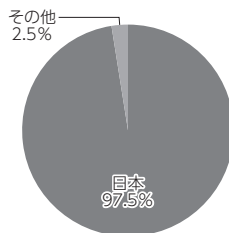
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

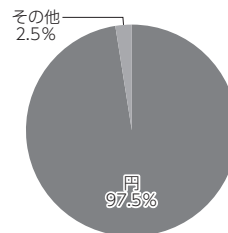
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第6期末
	2025年7月25日
純資産総額	1,053,835,271円
受益権総口数	661,868,301口
1万口当たり基準価額	15,922円

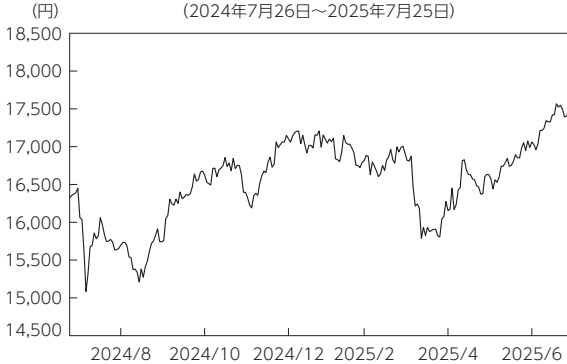
（注）期中における追加設定元本額は18,265,518円、同解約元本額は99,406,210円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 新興国ハイインカム債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2024年7月26日～2025年7月25日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月26日～2025年7月25日)

該当事項はございません。

## 【組入上位ファンド】

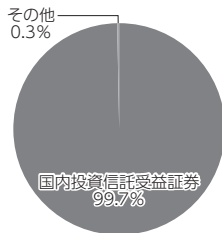
(2025年7月25日現在)

銘柄名	第6期末 %
PIMCOパミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドN(USD)	50.7
PIMCOパミューダエマージングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドAクラスN(USD)	48.9
組入銘柄数	2銘柄

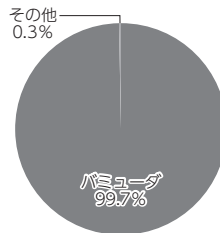
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

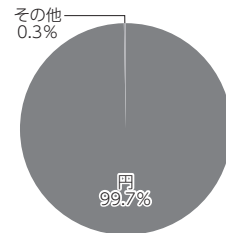
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

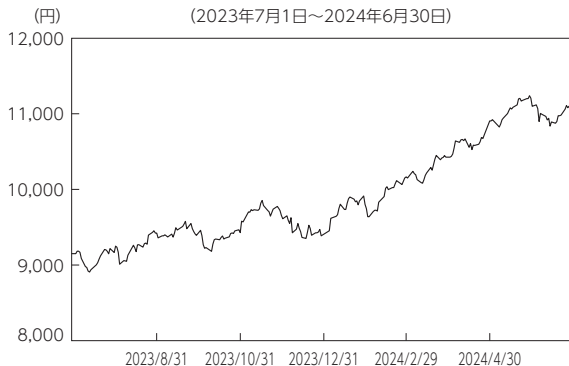
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

— <ご参考> PIMCOバリュエーション・ダエマージング・カレンシー・ハイインカムファンドN（USD） —

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月1日～2024年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2024年6月30日現在)

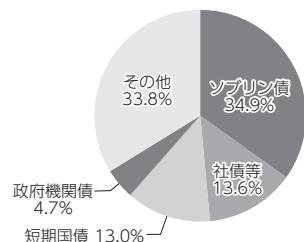
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	日本短期国債 0.038% due 08/19/2024	短期国債	日本円	日本	6.8%
2	ナイジェリア短期国債 6.999% due 07/04/2024	短期国債	ハンガリーフォリント	ナイジェリア	5.7
3	South Africa Government International Bond 10.500% due 12/21/2026	ソブリン債	南アフリカランド	南アフリカ	5.0
4	Freddie Mac 5.000% due 06/01/2053	政府機関債	アメリカドル	米国	4.7
5	Mexico Government International Bond 3.000% due 12/03/2026	ソブリン債	メキシコペソ	メキシコ	2.5
6	Singapore Government Bond 2.125% due 06/01/2026	ソブリン債	シンガポールドル	シンガポール	2.5
7	Asian Development Bank 6.720% due 02/08/2028	ソブリン債	インドルピー	国際機関	1.4
8	Czech Republic Government Bond 0.250% due 02/10/2027	ソブリン債	チェココルナ	チェコ共和国	1.3
9	Development Bank of Southern Africa Ltd. 8.600% due 10/21/2024	社債等	南アフリカランド	南アフリカ	1.3
10	SOCAR Turkey Enerji AS via Steas Funding 1 DAC 7.230% due 03/17/2026	社債等	アメリカドル	アゼルバイジャン	1.2
組入銘柄数				103銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】

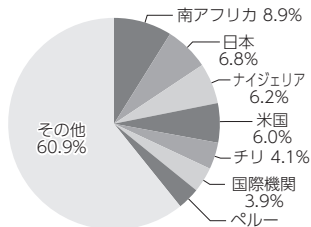


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

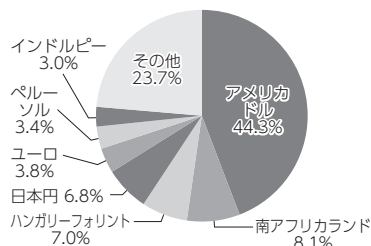
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※実質的な運用を行なっている、PIMCOバリュエーション・ダエマージング・カレンシー・ハイインカムファンドN（USD）の情報です。

【国別配分】



【通貨別配分】



—— <ご参考> PIMCOバミューダエマーゼンディングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンドA クラスN (USD) ——

## 【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月1日～2024年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

## 【組入上位10銘柄】

(2024年6月30日現在)

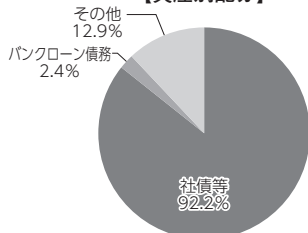
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	YPF S.A. 6.950% due 07/21/2027	社債等	アメリカドル	アルゼンチン	1.7
2	IHS Netherlands Holdco BV 8.000% due 09/18/2027	社債等	アメリカドル	オランダ	1.7
3	Avianca Midco 2 PLC 9.000% due 12/01/2028	社債等	アメリカドル	英国	1.5
4	Ecopetrol S.A. 5.875% due 05/28/2045	社債等	アメリカドル	コロンビア	1.5
5	Yapi ve Kredi Bankasi A/S 9.250% due 10/16/2028	社債等	ユーロ	トルコ	1.4
6	Medco Maple Tree Pte Ltd. 8.960% due 04/27/2029	社債等	アメリカドル	シンガポール	1.4
7	Kuwait Projects Co. SPC Ltd. 4.229% due 10/29/2026	社債等	アメリカドル	アラブ首長国連邦	1.4
8	First Quantum Minerals Ltd. 6.875% due 10/15/2027	社債等	アメリカドル	カナダ	1.3
9	Studio City Finance Ltd. 5.000% due 01/15/2029	社債等	アメリカドル	英領バージン諸島	1.3
10	Wynn Macau Ltd. 5.125% due 12/15/2029	社債等	アメリカドル	ケイマン諸島	1.2
	組入銘柄数		189銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

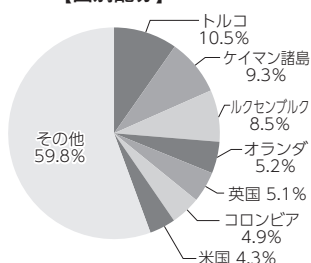
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

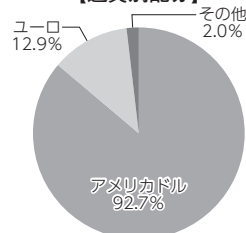
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※実質的な運用を行なっている、PIMCOバミューダエマーゼンディングマーケットハイイールドコーポレートボンドファンド(M)の情報です。